

中学生、市長と語る会



▲明智中学校 伊藤萌さん

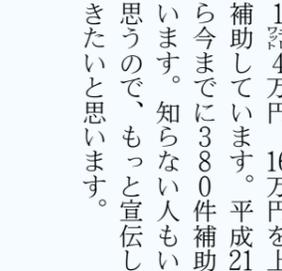
■市長 私の家の近くの公園に、畳や布団が捨ててあることがあり、地域の方が、一生懸命きれいにしました。とたんに、ポイ捨てがなくなりました。私も、きれいなまちにすれば、ごみは捨てられないようになりますと思います。

●伊藤萌 トイレの貼り紙に「いつもトイレ」



▲恵那北中学校 榎田紀花さん

●榎田紀花 市街地に、四季折々の花を植えて、華やかで市民が過ごしやすいまちにしていくと思います。市街地は人通りが多いため、ポイ捨てを見掛けたり、道端にごみが落ちていたりすることがあります。たくさんの花を植えることで、ごみも減っていくと思うし、環境整備にもなると思います。



▲明智中学校 稲ヶ部美央さん

■市長 市では、太陽光発電1割4万円、16万円を上限に補助しています。平成21年から今までに380件補助しています。知らない人もいますので、もっと宣伝していきたいと思っています。



●稲ヶ部美央 市が太陽光発電設備の設置に補助金を出していることを知らない人もいますので、みんなに広めて、みんなが省エネに貢献できるようにしたいと思います。



▲上矢作中学校 松岡明音さん

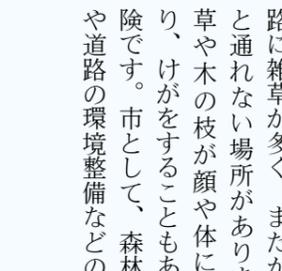
●松岡明音 上矢作町には風力発電があります。上矢作町に住んでいる人でも、

■市長 用水路などで発電する小水力発電を開発しようとして、市内にも「ピコ」という名前の水力発電機があります。1基8万円で二つ購入し、上矢作小学校と長島小学校に設置しています。このような電力を利用した防犯灯や街路灯を設置したらどうかと思います。



▲山岡中学校 細江凜さん

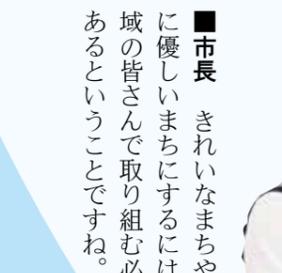
●細江凜 私も太陽光発電設備の設置に補助金があることを知らなかったし、周りにも知っている人は少ないと思います。太陽光発電の他に、自然を生かした水力発電もできているので、取り入れていってほしいと思います。



▲熊谷早也花さん

●熊谷早也花 間伐されていない森林は、木が細く、大雨が降ったときなどは山の保水力が弱まります。土砂崩れを引き起こす可能性があります。身近な環境の問題としては、通学路に雑草が多く、またがないと通れない場所があります。草や木の枝が顔や体に当たり、けがをすることもあり危険です。市として、森林整備や道路の環境整備などの事業

■市長 もっと風力発電を、宣伝したらどうかという提言でした。上矢作町の風力発電は意外と知られていないという事です。皆さんも一度見てください。笠置山や東濃牧場など、他の場所でも風力発電ができませんか、調査したことがあります。風力が6m/sぐらい必要なので、発電できる場所は限られます。観光資源として宣伝しても良いですね。



▲串原中学校 大島望さん

■市長 きれいなまちや環境に優しいまちにするには、地域の皆さんで取り組む必要があるということです。

●大島望 私の地域でも通学路に雑草が生えていて、危ない所もありますが、地域で草刈りなどをしています。地域ごとで協力していくと、まちがきれいになっていくと思います。



▲恵那西中学校 熊谷早也花さん

■市長 ご指摘の通りだと思います。国の木材自給率は23%です。市では、山岡小学校や大井小学校の体育館は木で造りました。特に県産の木材を使っています。どんどん木を使うことで木材の循環がうまくなっていきます。



▲未来の市を担う中学生がまちづくりを提案

未来のまちのために今やるべきこと

中学生が活発に発言

8月29日に市消防防災センターで、中学生、市長と語る会が開催されました。これは「まちづくりに若い中学生の意見を生かしたい」と平成17年度に可知市長の提案で始まり、ことしで8回目。市内8中学校の代表生徒16人と、市長、教育長、総合計画推進市民委員会長の19人が討論会方式で意見を交換。今回は「未来のまちのために今やるべきこと」をテーマに、二つのサブテーマ「環境にやさしいまちづくり」「リニアを生かしたまちづくり」について、それぞれの思いを活発に発言しました。

市では、中学生からいただいた意見を市の施策の参考として、まちづくりに生かしていきます。ここでは、内容の一部をお知らせします。

□問い合わせ 企画課 26-2111 (内線313)

サブテーマ1 環境にやさしいまちづくり

きれいなまちづくり

■市長 皆さんこんにちは。今回は、私と一緒に市政を考えるつもりでいるんな話をしてください。それでは最初のテーマを話しましょう。環境という身近で何をするかと

いうことだと思います。ポイ捨てなどの問題があります。それが、これを解決するには、自ら何をすれば良いかを聞きたいと思っています。

●橋充 捨てる人は捨てる人の気持ちを考えていないので、捨てる人がやっています。



▲恵那東中学校 橋充君

も減らないと思います。小学校や中学校にも広げ、みんなが意識できる日を一日作ればごみは減っていくと思います。

■市長 全市民に広げたらできるということですね。

※この記事の詳細は、市ウェブサイト(<http://www.city.ena.lg.jp/>)「中学生、市長と語る会」のページで公開しています。また語る会の様子は、えなっコチャンネル「コミュニティ番組ライブラリー」で10月15日(月)~21日(日)まで放送します

リニアを生かしたまちづくり

■市長 15年後にリニアの駅が、中津川市に開業します。リニアを生かしたまちづくりや、リニアをどう活用していくか聞きたいと思います。

特産品や観光地で宣伝

●森岡愛加 リニアが開通すると、日帰りの観光客が多くなると考えられます。中津川市と協力してまちづくりを進めることで、観光客を集めることができると思います。特産品やキャラクターを作ったり、パンフレットやクーポン券を活用した宣伝をしたりすることや、スタンプリーなどの企画をすると思います。



▲恵那西中学校 森岡愛加さん

■市長 キャラクターを作るなどして観光客を増やすということですね。皆さんは、彦根市の「ひこにゃん」や多治見

市の「うながっば」を知っていますか。そういうものがあるのと良いということですね。

●松岡明音 恵那にはたくさん観光客があるので、まちごとに特産品や観光地を宣伝していけばいいと思います。観光マップを作り、宿泊施設などもそれに載せていけばいいと思います。

■市長 恵那には特産品がたくさんあります。本当においしいという特産品を作って、観光客に来ていただき食べてもらう必要があります。



▲岩邑中学校 西尾実優さん

●西尾実優 市内には、岩村城址がありますが、城があった方が魅力的だと思います。この城を再建し、市の象徴としてリニアが開通したときに観光客を増やし、地域を活性化してほしいと思います。

■市長 城下町と宿場町の両方あるまちは少ないと思います。これは市の宝です。リニアができたときに、そういうものを大きな売り物にしていくべきだと思います。

明鉄をリニアと接続



▲上矢作中学校 小木曾もえぎさん

●小木曾もえぎ 明智駅から恵那駅を通って、リニアの中津川駅直通の明知鉄道を、たくさん走らせてほしいです。観光客が、乗り換えなしで市内の各町に來られるし、こちらから乗るときも便利です。

■市長 2年ほど前に明知鉄道の線路の上をバスが走る「DMV(デュアル・モード・ビークル)」の実証実験をしました。DMVは、線路を走っていて、途中



▲可知義明市長



▲岩邑中学校 仁口ひかりさん

滞在してくれる方だと思おうので、観光客よりも恵那で暮らす方を呼び込むべきだと思います。

■市長 本当は定住してほしいということですが、これは必要なことです。「ここに住みたいな」と思ってもらわないとそれができません。それが何かと言ったら、自然や歴史、文化だと思います。

●小本曾倫 都市部では、就職活動をしている人が多いと思うので、恵那の自然を生かした農業や地域産業の面白さを紹介して、定住を勧めるといいと思います。



▲山岡中学校 小木曾倫さん

■市長 都会の人に、農業体験や寒天作りの体験を通じて、田舎のいい所を知ってもらい定住してほしいということですね。

防犯や自然破壊が心配

●仁口ひかり 都市からたくさんの方が来ることにより、市内の治安が悪くなるのでは



▲恵那北中学校 安江結衣さん

ないかと思いません。地域の人たちが協会をつくり、見回りするなど、対策をしたらいいと思います。

から線路の外へ出て、そのままバスとして道路を走りまわす。これを明知鉄道に導入すれば、乗り換えせずにリニアの駅までへ行けます。

●三宅夏未 交通網が発達していないので、不便なことが問題です。唯一の交通手段のバスは、東濃鉄道のころは、土日も運行していました。しかし現在は、平日の朝と昼、夕方2本の4本しか運行していません。高校への通学でも不便さを感じます。そこで明知鉄道を延長して、ささゆりの湯まで引くことで、まちの活性化と交通の利便性が向上すると考えています。その延長にリニアを接続させたいと思います。



▲串原中学校 三宅夏未さん

■市長 DMVも活用していくといいと思います。市内の交通機関は、明知鉄道を核にして、それとバスがうまく連携して、利便性を高めていきたいと思っています。

■市長 恵那峡も有名になるといいですね。自然を壊さないように、景観を大切にしたいまちづくりをしていくことが必要だと思います。

まとめ

■有本教授 今回の語る会のテーマ「未来のまちのために今やるべきこと」は良いテーマだったと思います。皆さんには、心を通わせる会話と交流ができるようにしっかりと学んでほしいです。



▲総合計画市民委員会 有本信昭岐阜大学教授

■市長 皆さんで、ごみのないきれいなまちをつくる意識をしっかり持ったことはうれしかったです。リニアについては、皆さんの夢を語っていただきました。恵那の良ところをみんなで共有して、大きく宣伝すると同時に、ごみがなく、きれいなまちにしたいですね。魅力のあるまちにならないと思います。本日はありがとうございました。

職場確保が流出を防止

●橋本 恵那から出て行く人が増えると思います。恵那に働ける企業を設けることで、出て行く人をとどめることができます。活性化できると思います。そういう人を恵那にとどめることができると思います。それができれば、なおさら活性化につながると思います。マンションや住める場所を整備すればいいと思います。

■市長 リニアの駅の近くに総合車両所を造ることになっています。これには10000人から15000人の雇用が生まれるといわれています。関連する企業も、その近くでできるといいと思います。そうすると若い人たちの働き場所もできるといいと思います。その人たちの住む所も確保しなければなりません。恵那は、美乃坂本の近くなので、そういうことも考えていかなければいけないと思います。



▼各中学校の代表生徒は活発に意見を発表